

作成 2021年1月26日

更新 2021年2月22日



# 古代大津史

## -Ancient Otsu History

### リニューアル計画

#### はじめに

古代大津史（以降、当サイトと省略）の大幅リニューアルを実施します。この計画は昨年12月ごろから計画していましたが、現在は学校の課題や新生活の準備、私事情等の要因でリニューアルは延長を重ね、結局いつごろに着手できるか、私もまったくわからない状態となっています。

そこで、当サイトのリニューアル実施計画の具体的な手順をここに提示します。先行きを見通し、実施計画を公開することで計画の遂行性と自信のモチベーションアップにつなげております。時間と気力が余裕でき次第、順次作業に取り掛かります。気長にお待ちください。

#### リニューアル計画

##### サイト名の一部変更

リニューアルに伴い、サイト名を少し変更を加えます。

これまでの古代大津史の**英語表記**は「Ancitnt Otsu」と表記していましたが、リニューアル後は「Ancient Otsu History」に表記変更します。なお、日本語表記の古代大津史は変更予定はありません。

##### 手順

当サイトのリニューアルは下記の手順の通りに、リニューアルを始めます。

タイトル	内容
1. 開発環境構築	Laravel、Docker 環境を構築
2. サイト再編	サイトの体裁を保ちつつ、新しくサイトを作り直し。 詳しくは下記の“サイト再編”に後述
3. 事前現地調査	現地調査を円滑に進めるために事前調査
4. 本番現地調査	カメラマンと同行の上で各史跡の調査と撮影

## サイト再編

- PWA
  - 昨年に何度か実装を試みたが失敗してしまった PWA のリベンジ
  - ホーム画面インストール、プッシュ通知、キャッシュの 3 つを実装予定
- トップページ動画化
  - 「そうだ京都へ行こう」のようなプロモーション動画を独自で作りたい
  - ただ、スマホ、タブレットユーザが外で当サイトを閲覧する際に通信容量を大幅に使ってしまう可能性があるため、PC 以外のユーザは従来のスライドショー形式で表示するようにする
- 追従
  - ページをスクロールするとコンテンツがそれに応じて変化する。という機能が UIKit にあり、それをうまく活用したい
- トップスクロール
  - コンテンツ下部に行ったときに右下、もしくは左下に現れるボタン
  - UIKit にベースとなるパーツがあるため、実装できる可能性が高い
- ブラックテーマの不具合
  - ホワイトからブラックにテーマ変更時、更新や移動をすると「未確定のフォームがある～」と表示される。
  - HTML コードの不具合の可能性が高いため、修正を行う
- 反転
  - 当サイトは右利きのユーザを考慮して開発していたが、左利きユーザにも利用しやすいように、左右反転機能を付けたい。
  - UIKit の RTL 機能を使えば実装できるかもしれないが、実際わからない
- 文字の大きさ
  - 若年者以外のユーザ層に向けて、文字の大きさを変更できる機能が欲しい
  - UIKit に大きさ変更機能が備わっていないため、本当は欲しいが実装できない可能性がある
- サイトの描画バグ
  - 昨年 6 月に発見された一部のページをスマホユーザ (Android 版 GoogleChrome、Yahoo、Opera など) が閲覧した際に途中から描画が途切れてしまうバグの修正
  - 根本的な原因はわからなかったが、Android 版 FireFox ではこの現象が起きなかったことから、ブラウザアプリのレンダリングエンジンが原因の可能性はある
  - このバグを回避するために 1 つのページ量を減らし、なるべく小分けで表示するようにする
- 各古墳の切り替えレイアウト
  - スマホ版では、1 号墳、2 号墳...と並びがひな壇のようになっており、バランスが悪い
- 史跡ページの大幅な見直し
  - 概要、地理、詳細と画像の 3 つの構成で形成しているが、新たに「レポート」を加えたい
  - 自分が史跡を訪れた時の感想、歴史的観点から見た考察、訪れる際の注意事項などを公開
- 開発者ページの追加
  - トップページに協賛者を記載しているが、別の開発者ページに移動

- 利用規約、プライバシーの変更
  - 再編予定
- お問い合わせ
  - Gmail を使っているユーザの場合、正常にメールが届かない可能性がある (OAuth 認証の影響) ため、問い合わせフォームの構造を一から見直したい